

## 1 試合開始前に決めること

双方のチーム代表プレーヤーがトスをします。勝った方が試合開始のフリーパス、またはサイドのどちらかを選びます。主催者が指定するトスの時間に間に合わないチームがいた場合、もう一方のチームにフリーパスの選択権が与えられます。両チームが間に合わない場合は、主催者が代行します。

## 2 プレーの方法

- (1) 試合開始はハーフウェイライン中央からのフリーパスで行います。後半開始のフリーパスは前半開始のフリーパスを行わなかったチームが行います。
- (2) 試合中、二本のタグを左右の腰に一本ずつ付け、自分の足で地面に立っているプレーヤーは、競技規則に反しない限り自由にプレーすることができます。

## 3 アドバンテージ

反則が起きても、レフリーが「反則をしなかった側が有利に試合を進めている」と判断した場合、プレーを続ける場合があります。

## 4 得点〔トライ〕とその後の再開

- (1) 左右の腰に1本ずつのタグを着け、ボールを保持し、自立しているプレーヤーが相手インゴール（ゴールラインを含む）に両足を入れると1点が得られます（「トライ」といいます）。（札幌地区予選大会ローカルルール）
- (2) レフリーは、防御側の反則行為がなければトライが得られた、と判断した場合、攻撃側にトライ（「ペナルティトライ」）を与えます。
- (3) トライ後の再開はハーフウェイライン中央からトライをとられたチームのフリーパスで行います。
- (4) 次の場合、トライは認められません。
  - ① インゴール直前でタグを取られ、惰性でインゴールに入った。  
ボール保持側の5mフリーパスで試合を再開します（タグの回数は継続します）。（札幌地区予選大会ローカルルール）
  - ② スライディングや飛び込んでインゴールに入った。  
危険なプレーとみなし、防御側の5mフリーパスで試合を再開します。（札幌地区予選大会ローカルルール）

## 5 タグ

防御側プレーヤーがボールを持っているプレーヤーのどちらかのタグを取り、それを頭上にあげて「タグ」と叫んだら、タグの成立です。

- (1) タグが起きたら、プレーヤーは次のことをしましょう。
  - ① タグを取られたプレーヤーは直ちに前進を止め、ボールをパスします。違反した場合はオーバーステップの反則となり、相手側のフリーパスで試合再開となります。
  - ② タグを取ったプレーヤーはタグを相手に手渡して返します。タグを取られたプレーヤーは、すみ

やかに相手からタグを受け取り、タグを腰に着けます。

- (2) 防御側がタグを4回取ったら攻守交代です。4回目のタグがあった地点でのフリーパスから試合を再開します。
- (3) タッチライン上またはタッチラインの外にいるプレーヤーも相手プレーヤーのタグを取れません。

## 6 オフサイド（反則）

タグが起きると、タグを取られたプレーヤーがボールを離れた地点を基準として、ゴールラインに平行なオフサイドラインができます。

- (1) オフサイドラインの前方にいる防御側のプレーヤーは速やかにオフサイドラインの後方に下がります。
- (2) 下がりきれない防御側プレーヤーはボールを持った側のプレーヤーがパスをしたり走ったりするのを妨げないようにします。

オフサイドの反則があった場合は相手側のフリーパスで試合を再開します。

## 7 ノックオン・スローフォワード（反則）

- (1) プレーヤーがボールを受け損ねたり、ボールが腕や手に当たったりして、ボールが前に進むことを「ノックオン」といいます。
- (2) プレーヤーがボールを前に投げる、あるいは前にパスすることを「スローフォワード」といいます。

ノックオン、スローフォワードいずれも相手側のフリーパスで試合を再開します。

## 8 フリーパス

「フリーパス」とはボールを持ったプレーヤーがその位置から動かずに、レフリーの合図で、自分より後方の2m以内にいるプレーヤーにパスをすることです。

- (1) フリーパスは、前後半の開始、トライの後、6・7の反則があったとき、その他ルールで定められているときに行われます。
- (2) フリーパスのとき、防御側のプレーヤーは、すみやかにフリーパスの地点から5m下がります。ボールがパスされれば、前に出てもかまいません。
- (3) インゴール及びゴールラインから5m以内のフィールドオブプレーではフリーパスは行われません。この地域でフリーパスは、反則等があった地点に近い、ゴールライン前5mの地点から行います（「5mフリーパス」といいます）。

## 9 タッチ

ボールを持ったプレーヤーがタッチラインを踏んだり超えたりした場合、また、投げたボールがタッチラインに触れたり超えたりした場合は「タッチ」となります。再開はタッチになった地点から相手側のフリーパスで行います。ボールはタッチラインの外にいる、またはタッチライン上のプレーヤーが投げ入れます。

## 10 インゴール、タッチインゴール、デッドボールライン

- (1) ボールを持ったプレーヤーが自チームのタッチインゴール、デッドボールラインに触れ、又は超えた場合、相手側の5 mフリーパスで試合を再開します。(札幌地区予選大会ローカルルール)

## 1 1 禁止事項

試合中、プレーヤーは以下の行為をしてはなりません。これらが起きた場合、その地点で相手チームにフリーパスが与えられます。

- (1) 相手選手と接触・衝突すること。接触・衝突につながる行為をすること。
- (2) タグを取る以外の方法で相手の攻撃を止めること。
- (3) 相手をかかわす以外の方法（タグを取られないように手で押さえたり、タグを隠したり、ジャンプしたり、体を90度以上回転させたりすること）で、相手がタグを取るのを邪魔すること。
- (4) その他、タグを投げ捨てたり、相手に文句を言ったりなど、周囲の人たちを不快な気持ちにさせる全ての行為。

## 1 2 その他

競技規則にない状況が起きた場合、レフリーは試合停止を命じ、停止直前にボールを保持していた側のフリーパスで再開します。その時、タグの回数は継続します。